

特集

差別をしない・させない・ゆるさない

11月11日～12月10日は
「差別をなくす強調月間」です



県人権センター常設展示室

子どもから大人までのすべての人を対象に、人権問題を分かりやすく理解いただくため、県内の歴史的事実や生活文化に焦点を当てた資料などを展示しています。

引き続き県民の命を守り、
ふるさと三重の未来を拓くために

三重県知事の一見勝之です。このたび、県民の皆さんにご支持をいただき、知事2期目として今後の4年間の県政を担うこととなりました。

令和3年9月に知事に就任してからの4年間、県民の皆さんの命を守り、三重をさらに魅力ある地域へと発展させていくため、山積する課題の一つひとつ正面から取り組んできました。ようやく基礎はできつつありますが、三重の発展のために歩みを止めるわけにはいきません。

私がこれから進めていかなければならない取り組みの中で、特に注力すべきものをいくつかご紹介します。

まず1つ目は防災です。南海トラフ地震が発生した際、県民が一丸となって対応するための条例の制定や、国や他都道府県などからの支援を円滑に受け入れるための体制を整備するとともに、避難所の環境改善や津波避難タワーの整備など、県民の命を守るための取り組みを加速化させていきます。

2つ目は子ども政策です。「みえ子ども・子育て応援総合補助金」による好事例の横展開の実施や

保育士確保をはじめとする市町の取り組みへの支援を進めるとともに、学びの多様化や不登校児童生徒などへの支援を強化します。

3つ目は観光です。三重県を支える産業の一つである観光産業の発展に向け、観光地や宿泊施設、二次交通などの観光インフラ整備を一層進めるとともに、海外や首都圏などで効果的なプロモーションを実施するほか、データに基づいた「インバウンド誘客計画（仮称）」の策定などを進め、オーバーツーリズムにも注意しながら観光誘客を強化します。

この他、人口減少が続く中でも、全ての県民の皆さんが安心して生き生きと暮らせるよう、医療提供体制の整備や、地域公共交通の確保、道路などのインフラ整備、ものづくり産業や農林水産業の振興など、着実に取り組みを進めていきます。三重の明るい未来を皆さんと共につくり上げるため、より一層のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。



キーワードを本紙から探して
県産品を当てよう！

11月11日～12月10日は
「」をなくす強調月間」です

正解者の中から抽選で **5人** に
調味料の詰め合わせをプレゼント！

応募方法 ① に当てはまるキーワード
②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥県政だよりの入手先 ⑦県政だよりの感想を明記して、ハガキ、メール、応募フォーム（下記二次元コード）からご応募ください。 ※応募は1人1回限り

〒514-8570（住所不要）
三重県広聴広報課
「県政だより11月号プレゼント」係
✉dayori@pref.mie.lg.jp
（プレゼント応募専用メールアドレス）

応募締切 令和7年11月28日（金）到着分

当選発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
個人情報情報は賞品発送および読者層の調査に関する目的以外には使用いたしません。

三重県広報紙
毎月1日発行／毎月第1日曜日 新聞折込

デジタル版は
こちら



カタログ
ポケット



マチイロ



マイ広報紙

差別をしない・させない・ゆるさない

11月11日～12月10日は「差別をなくす強調月間」です

1948年12月10日、国際連合総会において、すべての人と国が達成すべき基準として「世界人権宣言」が採択され、この12月10日は「人権デー」と定められました。日本では、12月4日から人権デーまでの1週間を「人権週間」と定めています。

県では、1990年に全国に先がけて、あらゆる差別の撤廃をめざした「人権県宣言」が県議会で決議されました。

これを契機に、毎年11月11日から12月10日までの1カ月間を「差別をなくす強調月間」として定めています。

今なお、部落差別（同和問題）をはじめとする不当な差別や、さまざまな人権問題が存在しています。県では、1997年に制定した人権条例を、2022年に「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」に改正し、差別が許されるものではないとの認識の下、差別解消に向け、さまざまな人権施策を行っています。

強調月間期間中には、県の人権啓発の拠点である人権センターをはじめ、県内各地でさまざまな啓発活動が行われています。

この機会に、皆さんも人権について考えてみませんか。

県人権センターの紹介



部落差別（同和問題）をはじめとするさまざまな人権課題に対する正しい認識と理解を深めるとともに、あらゆる差別を撤廃し、すべての県民の方の人権が尊重される地域社会の実現をめざして、さまざまな啓発事業、相談事業を行っています。



1階アトリウム

強調月間期間中は、土地差別に関するパネルや、児童、生徒による人権に関するポスター作品を展示しています



図書室

人権に関する本・DVDの貸し出しサービスを行っています



館内には、常設展示室・図書室・多目的ホールがあり、どなたでも利用していただけます。

強調月間期間中の県・市町の取り組み



街頭啓発

毎年11月中旬～12月上旬にかけて、県内各地で啓発物品の配布などを実施します



県民人権講座

参加無料

要申し込み



パラ射撃パラリンピアン岡田和也さんを講師に迎え、「障がいがあっても、自分らしく生きる～パラアスリートとして伝えたいこと～」を演題とした講演会を行います。ビームライフル（弾の代わりに光を照射する光線銃）などの体験会も実施します。ぜひご参加ください。

日時 11月15日（土）13時～16時

場所 県人権センター 多目的ホール、県身体障害者総合福祉センター

その他、県・市町の取り組みの詳細はこちら



人権問題に関する相談はこちら

県人権センター 相談窓口

TEL 059・233・5500

月曜～金曜 9時～17時

※祝日・休日・年末年始を除く

県人権センター マスコットキャラクター「ミッコロ」

三重県の「ミ」と「ココロ」をつなぎあわせた愛称の「ミッコロ」は、県の花（花しょうぶ）と差別を「しない」「させない」「ゆるさない」の3つの心（ハート）を頭に付け、県民の皆さんに親しみやすく、より関心をもっていただくための人権啓発マスコットキャラクターです。



問い合わせ先 県人権センター TEL 059・233・5501 FAX 059・233・5511 ✉ jinkenc@pref.mie.lg.jp

ダイバーシティ社会の実現に向けて 多様性を認め合える三重づくりに取り組んでいます

三重県パートナーシップ宣誓制度

互いを人生のパートナーとし、日常生活において相互に協力し合うことを宣誓した2人（一方または双方がLGBTQ当事者の方）に、県が宣誓書受領証などを交付します。



ウェブサイト

LGBTQ コミュニティスペース

LGBTQ 当事者の方、LGBTQ かもしれないと思っている方、家族や友人の方が交流できるスペースを開設します。詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。



日時 11月16日（日）14時～16時

要申し込み

参加無料

入退出自由



ウェブサイト

みえにじいろ相談 ～性の多様性に関する相談～

性の多様性に関するさまざまな悩みについて、ご本人だけでなく、周囲の方からの相談も受け付けています。（相談無料・秘密厳守）



ウェブサイト

電話相談 TEL 059・233・1134

毎月 第1日曜日 13時～19時

第3金曜日 14時～20時

SNS相談 毎月 第2金曜日 14時～20時

第4日曜日 13時～19時

LINE 友だち追加

男女共同参画班

多文化共生社会づくり

日本人と外国人が互いの生活習慣や文化の違いを認め合い、差別や偏見のない地域社会を共に築けるよう、次のような取り組みを行っています。

- 外国人の日本語学習支援
- 4カ国からの国際交流員による母国文化や生活の紹介
- やさしい日本語（例：登校→学校へ行くなどの言い換え）の紹介
- 啓発イベントの実施 など



国際交流員

多文化共生班

知事メッセージ

私たち一人ひとりがかけがえのない存在です。互いの違いを認め、尊重し合い、誰もが安心して自分らしく暮らせる三重をつくりましょう。



三重県知事 一見 勝之

問い合わせ先 環境生活部 ダイバーシティ社会推進課

男女共同参画班

多文化共生班

TEL 059・224・2225

TEL 059・222・5974

FAX 059・224・3069

FAX 059・222・5984

✉ iris@pref.mie.lg.jp

✉ tabunka@pref.mie.lg.jp

改正「子どもを虐待から守る条例」を令和7年7月1日に施行しました！

県では、児童虐待防止対策の強化を図るため、「子どもを虐待から守る条例」を改正しました。

条例改正のポイント

- ① 体制づくり**
子どもの権利擁護の取り組みの推進、未然防止の取り組みの推進
- ② 関係機関との連携**
子どもの安全確認・安全確保の連携強化、連携体制の強化
- ③ 人材育成**
児童相談所職員などの専門職・専門組織としての質の向上



オレンジリボンには子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。

子どもの権利擁護推進に向けて

- 保護者の責務として、子どもの人権を尊重することを明記しました。(第8条)
- 県は子どもが安全に安心して意見表明ができるよう必要な体制を整備します。(第18条)



「①体制づくり」「②関係機関との連携」「③人材育成」を柱として、児童虐待防止や子どもの権利擁護に向けての取り組みを推進していきます。

問い合わせ先 子ども・福祉部 児童相談支援課
TEL 059・224・2883 FAX 059・228・2085 E-mail jidoucen@pref.mie.lg.jp

県民の皆さんへ

児童虐待の早期発見・早期対応のために虐待かもと思ったら通告・相談をお願いします。また、子育てや親子関係などの相談 LINE も開設しています。ご利用ください。

児童相談所 虐待対応ダイヤル

いちはやく
TEL 189

※一部の IP 電話からはつながりません。
※ 24 時間 365 日対応、通話料無料

児童相談所 相談専用ダイヤル

いちはやく おなやみを
TEL 0120・189・783

※一部の IP 電話からはつながりません。
※ 24 時間 365 日対応、通話料無料

親子のための相談 LINE

受付日時 月曜～金曜 10時～20時
※祝日・休日・年末年始を除く

対象者 県内にお住まいの子どもとその保護者の方など



自治体主催の「交流イベント」を開催します

平成生まれ限定交流コン！さあキットいい出会いあるぞ！in鈴鹿サーキット

「毎日、家と職場の往復ばかりで出会いがない」「新しいつながりや、パートナーを見つけたい」そんな方を対象にした気軽に出会える交流イベントです。



サーキットが一望できる特別なお部屋でのミニゲームや、遊園地内でのグループ散策で、楽しく交流しましょう。出会いのきっかけづくりに、ぜひご参加ください！

日時 12月13日(土)
10時45分～15時30分頃
(集合：10時
受付：移動後、会場にて)

場所 鈴鹿サーキット
(鈴鹿市稲生町7992)

対象 三重県 在住・在勤
平成生まれの独身の方(20歳以上)

定員 60人(男女各30人)
※応募多数の場合は抽選

料金 1,000円(施設入園料込み)
※駐車場代は別途必要になります。

申込 右記の申し込みフォームから
ご応募ください
(12月3日(水)締切)

参加者
募集中！



イベントの
問い合わせは、
みえ出逢いサポート
センターへ！

安心 安全の
自治体主催婚活



みえ出逢いサポートセンター

四日市市安島1-3-31 トナリエ四日市4階
株式会社デルタスタジオ内

TEL 059・355・1322

E-mail info@deai-mie.jp

開所日時 不定休 10時～18時

南勢サテライト

伊勢市船江1丁目471-1 ミタス伊勢内
(いせ出会い支援センターと併設)

TEL 0596・21・1522

E-mail info@deai-mie.jp

開所日時 月曜・火曜 11時～18時

みえ出逢いサポートセンター 検索



問い合わせ先 子ども・福祉部 少子化対策課 TEL 059・224・2404 FAX 059・224・2270 E-mail shoshika@pref.mie.lg.jp

連載 第8回 (全12回)

食のつなぐ
みえの輪

三重の旬の食材を使ったレシピ紹介

三重の食材をご家庭の料理に使っていただくことや、県内外に三重の農林水産物の魅力を発信するために県が実施した、「みえの食レシピコンテスト2023」の入賞レシピを紹介します。

みえの食レシピコンテスト 2023 検索



伊勢赤鶏の味粕焼き

【作り方】

- ① みかんの房をばらし、皮は1/2個を千切りにする。
- ② 耐熱ボウルに①と砂糖を入れ、軽く混ぜ、ラップをする。
- ③ 500Wの電子レンジで3分間加熱し、みかんの実をつぶしながら混ぜる。
- ④ ③を、ラップはかけずに500Wの電子レンジで2分加熱し、赤味噌を混ぜる。
- ⑤ 鶏もも肉を一口大に切り、④を揉み込むように混ぜる。
- ⑥ フライパンに⑤を汁ごと入れ、肉が重ならないように広げ、蓋をして強火で3分間、蒸し焼きにする。
- ⑦ 蓋を取り、時々混ぜながら2分焼く。

鯛のポワレ柿ソース

【材料/ 2人分】

- 柿……………1/2個
- 玉ねぎ……………1/4個
- 白ワイン……………50cc
- 酢……………15cc
- 生クリーム……………30cc
- コンソメ……………小さじ1
- バター……………25g
- 塩……………少々
- オリーブ油……………大さじ1
- 鯛……………2切れ
- 塩こしょう……………少々

【作り方】

- ① 柿1/4個をすりおろし、残りは粗めのみじん切りにする。玉ねぎは、細かくみじん切りにする。
- ② 白ワイン、酢、柿のすりおろし、玉ねぎのみじん切りを混ぜ、沸騰するまで中火、その後は弱火にして、水分がほぼなくなるまで煮詰める。
- ③ 生クリームとコンソメ、粗くみじん切った柿を加えながら加熱し、ひと煮立ちしたら火を止め、バターを加え、塩で味を調える。
- ④ フライパンにオリーブ油、バターを入れ、加熱する。
- ⑤ 鯛に塩こしょうをふりかけ、皮面を下にして中火で3分ほど焼く。
- ⑥ 皮がパリッと香ばしく焼けたら、裏返して1分ほど焼く。
- ⑦ 柿ソースと鯛を盛りつけて完成。



【材料/ 2人分】

- 南紀みかん……………2個
(Mサイズ)
- 砂糖……………大さじ2
- 赤味噌……………大さじ1/2
- 伊勢赤鶏もも肉……………1枚
(約250g)

問い合わせ先 農林水産部 フードイノベーション課 TEL 059・224・2391 FAX 059・224・2521 E-mail f-innov@pref.mie.lg.jp

三重で地域の発展や課題解決に貢献している人・団体を紹介

つなばり、みがやく

三重の未来

松阪市

みやした ゆうすけ

三重化学工業株式会社 宮下 祐介さん

静岡県出身。サービス業から製造業へ転身し、異業種連携で松阪発の医療機器商材の開発に挑戦中！

三重化学工業株式会社

地元中小企業の力で、地域医療に貢献したい！

どのような仕事をしていますか？

三重化学工業は、今年、創業70周年を迎えます。従来からの保冷剤や作業用手袋などの製造に加え、平成17年からは医療機器分野にも参入しています。私は、もともとホテルのレストランの接客サービス業から転身した身で、入社後は作業用手袋の企画開発や営業に従事してきました。

ところが、医療・健康・福祉産業の振興をめざし産学官民が連携する県の事業「みえメディカルバレープロジェクト」に当社が参加することになった際に、初めて医療分野の担当になりました。全く分からないことばかりで、まさにゼロからのスタートでした。でも、「分からないことは、聞くしかない」と、医療機器メーカーや病院を訪ね回り、サービス業の経験で培った“顧客満足を目指す接客力”で、相手のニーズや課題、自社技術の活用方法などを丁寧に聞き取り、信頼関係を築いてきました。

このMMMでの連携が、新たな取引や商品開発に結びつきました。1社だけでは実現が困難な医療機器の開発も、複数の企業の技術や強みを持ち寄ることで、高度な商品づくりが可能になりました。各社の強みを組み合わせた取り組みが注目を集め、メディアにも取り上げられ、行政からの支援や、大手病院などでの展示会開催といった成果も上がっています。実際に受注にもつながり、確かな手応えを感じています。

やりがいと目標を教えてください

MMM内では定期的な懇親会を開き、信頼関係を深めてきました。商品開発だけでなく、顧客の紹介や営業同行など、協力し合える関係を育んでいます。MMMの仲間から「売上が伸びた」「新しいお客様ができた」といった声を聞くと、自分のことにうれしく思い、大きなやりがいを感じますね。

目標は、各社が成長し、雇用の創出や地域医療の課題解決につながっていくことです。素晴らしい技術を持つ仲間と出会えたことで、新たな挑戦の可能性が広がりました。これから挑戦する方には、ぜひ「人とのつながり」を大切にしてほしいと思います。

新規参入で取り組んだことは？

当社と同じく医療機器分野に新規参入した松阪市内の異業種5社に声を掛け、令和4年9月に「松阪メディカルメンバーズ(MMM)」というグループを設立しました。私は事務局として、企業間の連携や情報発信を担当しています。

MMMによる各種展示会の様子

みえのいいとこ！

伊賀市

伊賀流忍者体験施設

数多くの忍術流派をまとめた忍術書『万川集海』をテーマにした新感覚の体験施設。忍びが暗躍する地底洞窟「魔堅窟巡り」では忍びの教えを学べ、「忍修殿」では忍び装束をまとうて歩術や手裏剣打ちなど48種の本格的な忍術を体験できます。忍びの世界の魅力が詰まった伊賀流忍者体験施設『万川集海』へぜひお越しください。

場所

伊賀市上野丸之内29

問い合わせ先

伊賀流忍者体験施設で検索

動画も見てね！

■ 11月号は、10月6日時点の情報に基づき作成しています。
■ 「県政だより みえ」は、県および市町施設、スーパー、コンビニ、金融機関、郵便局などでも入手できます。
■ 県の公式 SNS (Facebook・X) でも、県からのお知らせを随時配信しています。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

次号のお知らせ

12月号は 12月7日(日)に新聞折込予定です。

近鉄

近鉄ICOCA
ポイント還元サービス

利用登録をして

ICOCAで乗ろう！
お得に
乗ろう！

広告

ICOCAのご利用実績に応じて
ポイントを付与します！

ICOCAを使って1カ月に
11回以上
ご乗車すると

ご利用総額の
10%の
ポイント付与

子どもICOCAは1回のご乗車から50%ポイント付与！

ポイントのご利用にはチャージが必要です。

※1 定期券の区間内でのご乗車分は、ポイント付与の対象外となります。
●詳しくはHPをご覧ください。●ICOCAは西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

詳細はこちら

農業大学校一般入校試験(前期)

一般入校試験を実施します。実践的に農業を学べます。応募資格など詳細は募集要項をご確認ください。

☎

12月12日(金)

☎

11月10日(月)～25日(火)(当日必着)

問

農業大学校 教務課

三重県農業大学校 学生募集要項

検索

TEL

0598・42・1260

F

0598・42・5835

お知らせ

ハンセン病元患者のご家族への補償金制度

ハンセン病元患者のご家族に対する国の補償金制度があります。

☎

令和11年11月21日(水)まで

対

ハンセン病元患者のご家族(同居など一定の要件が必要な場合があります)

厚生労働省 補償金相談窓口

ハンセン病 厚労省

検索

TEL

03・3595・2262

✉

hoshoukin@mhlw.go.jp

11月・12月は県税の「差押強化月間」です

税負担の公平性を保つため滞納処分を徹底しており、差押強化月間には、各県税事務所が市町と連携して差押処分の強化を図ります。

☎

11月～12月

三重 県税 差押

検索

問

総務部 収収確保課

TEL

059・224・2131

F

059・224・4321

「看護補助者」について知るお仕事セミナー

無資格・未経験でも病院で働ける看護補助者の仕事を紹介します。

☎

11月21日(金) 14時～15時

☎

11月19日(水)まで

所

ハローワーク津2階会議室およびオンライン

定

40人(会場20人、オンライン20人) ※ハローワークへの求職登録が必要

問

ハローワーク津

ハローワーク津 人材確保

検索

TEL

059・228・9161(42番)

ハローワーク津
公式キャラクター
「はびばら」

新型インフルエンザ等対策県民向け公開講座

感染症の正しい知識や予防策について学ぶ公開講座を開催します。

☎

12月6日(土) 13時～16時

☎

11月26日(水)まで

所

オンライン

三重県 感染症 公開講座

検索

問

三重大学 感染症みらい社会教育研究センター

TEL

059・231・5415

みえ花とみどりのふれあいフェスタ2025

県産の花とみどりをを使った展示や体験教室、即売会などを開催します。

☎

12月6日(土)・7日(日) 10時～16時

☎

11月14日(金)まで ※体験教室のみ

所

メッセウイングNHW 展示場A・B・C

料

体験教室は一部有料

問

農林水産部 農産園芸課

みえ花とみどりのふれあいフェスタ

検索

TEL

059・224・2808

F

059・223・1120

令和7年度 獣害につよい三重づくりフォーラム

獣害対策についての講演会および展示会を開催します。

☎

12月13日(土) 講演会・分科会:12時30分～16時(12時開場)、展示会:11時～15時

☎

11月21日(金)まで

所

県総合文化センター 大ホール他

定

100人 ※分科会のみ

問

農林水産部 獣害対策課

三重県 獣害 フォーラム

検索

TEL

059・224・2017

F

059・224・3153

特集展示 ミニ館蔵品展

収蔵資料の中から、絵巻物を特集した展示を開催します。

☎

11月24日(月・休)まで 9時～17時

休

月曜(祝日の場合は翌平日)

所

県総合博物館3階 三重の実物図鑑

問

県総合博物館(MieMu)

MieMu ミニ館蔵品展

検索

TEL

059・228・2283

F

059・229・8310

六鯨図

いじめ電話相談 ～11月は三重県いじめ防止強化月間です～

いじめに関する相談ができます。

TEL

059・226・3779

いじめから子どもたちを守りましょう。

☎

毎日24時間

三重県 いじめ電話相談

検索

対

幼児から高校生までの子どもおよびその保護者

認知症疾患医療センターの医療相談

県内には9つの認知症疾患医療センターがあります。認知症の専門医療の提供、相談や診断後支援を行っています。

☎

各センターにより連絡先などが異なります。詳しくは二次元コードからご確認ください。

三重県 認知症 医療センター

検索

凡例

☎

日時・期間

☎

受付・申込

休

休館日

所

場所

対

対象

定

定員

料

料金(マークのないものは原則無料)

問

問い合わせ先

TEL

電話

F

FAX

県庁

県の最新イベント情報などは、ここからチェック！

最新情報は、各ウェブサイト、問い合わせ先を確認をお願いします。

三重県 お知らせ イベント 相談窓口

検索

「県政だより みえ」の発行経費の一部に充てるため企業広告を掲載していますが、内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。なお、掲載については、広告掲載業務の委託先である株式会社ウィット(☎072・668・3275代)までお問い合わせください。

県政だより みえ 令和7年11月号 4